

「訪問看護」ってなあに？

看護師などが居宅を訪問して、主治医の指示や連携により行う看護です。病気や障がいがあっても、多職種と協働しながら、居宅で最期まで暮らせるように療養生活を支援します。

主治医と密に連携し、心身の状態に応じて、身体的・精神的な看護はもとより、入退院（入所・退所）についてのご相談、必要に応じた在宅ケアサービスの紹介、関連機関との連携などにより、本人の意向に沿った療養生活を叶えるための様々な支援や調整を行います。

訪問看護は、疾病や障がいなどがあり、居宅で療養しながら生活をされている方で、主治医が訪問看護を必要と認めた方です。小児か

ら高齢者まで、年齢等を問わず訪問看護を必要とする全ての方を対象としています。

「訪問看護」の導入については、本人・家族の意向を確認のうえ、かかりつけ医に相談しましょう。

（参考：公益財団法人日本訪問看護財団）



「グループチャット」の活用について

はち丸ネットワークでは、一般チャット（利用者間でのメッセージ機能）を利用して、同職種、多職種との情報共有ができます。はち丸在宅支援センターへ「グループチャット」の申請をすることで、特定の利用者グループのページも作成可能です。事業者連絡会や専門職委員会等の情報共有にも、ぜひご活用ください。

編集後記

2021年が始まりました。昨年より続くコロナ禍でのお正月、「オンライン初詣」や「キャッシュレス賽銭」を体験された方もいるのでしょうか。賛否両論あるようですが、大切なのは気持ちだと思います。これからの会議や研修でも、オンラインやハイブリッド式（参集+オンライン）の開催が続くと予想されます。新たな形に戸惑いもありますが、変わらない大切なことのために手段を変えることも必要ですね。(S)



ご意見募集

皆様のご意見や感想をお聞かせください。



在宅医療と介護の連携推進

はち丸っと



多職種向け機関紙
Vol. 05
2021年 冬号
【編集・発行】
一般社団法人名古屋市医師会
はち丸在宅支援センター

はち丸在宅支援センターは、名古屋市医師会が名古屋市委託事業として実施している「在宅医療・介護連携推進事業」及び「在宅医療体制の整備事業」における在宅療養支援窓口として各区に設置しています。はち丸在宅支援センターでは、在宅療養に関する相談対応を始め、多職種連携の推進、在宅医療の体制整備を行っております。

ホームページをリニューアルします



はち丸在宅支援センターのホームページをリニューアルします。

「市民の皆さま」向け、「医療・介護関係者の皆さま」向けのページを作成し、市民の皆さま、在宅医療・介護に携わる多職種の皆さま、それぞれがお知りになりたい情報へアクセスしやすくなります。

また、名古屋市・名古屋市医師会が発行する「名古屋市在宅医療・介護のしおり」や「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック」、当センターが発行する「はち丸っと」をはじめ、パンフレット・冊子・機関紙の閲覧やダウンロードも行っていただけます。

「医療・介護関係者の皆さま」向けのページでは、在宅療養を支える多職種連携をサポートする「在宅療養あんしんサポートシステム」について、イメージ図なども掲載し、わかりやすくご紹介しています。

また、「研修カレンダー」にて、16区で開催される研修会のスケジュール・内容を随時ご案内していきます。

はち丸ネットワークポータルサイトへも当ホームページよりアクセスいただけます。



事業の実施状況等については、名古屋市医師会及び各区はち丸在宅支援センターへお問い合わせください。また、ウェブサイトにも随時、お知らせを掲載いたします。
(https://zaitakukaigo.nagoya/)

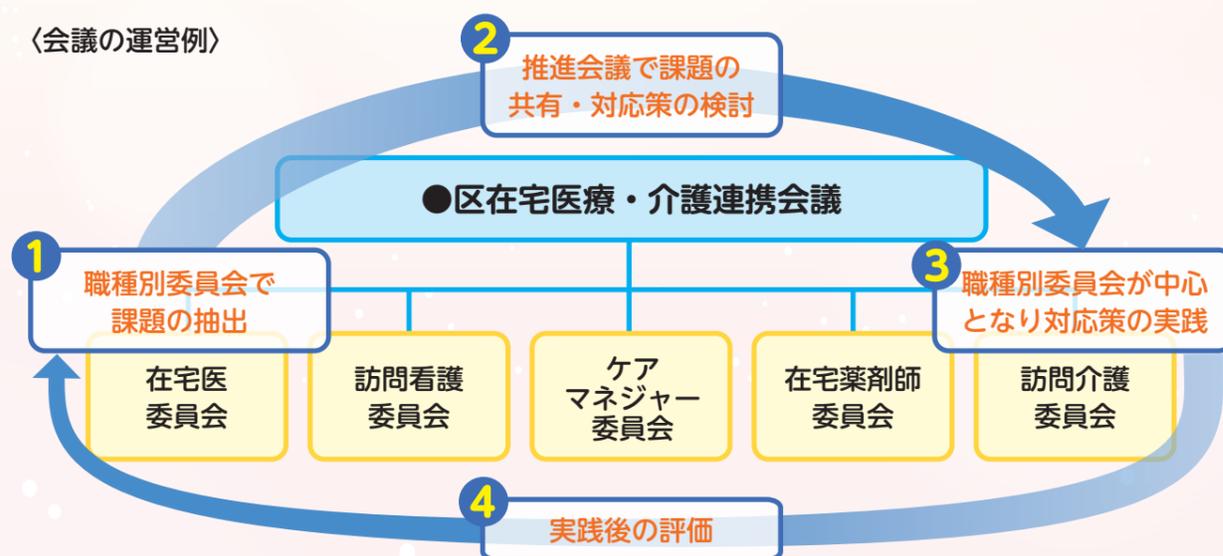


コロナ禍における多職種連携を考える！ ～こんな取り組みをしています～

令和2年度名古屋市在宅医療・介護連携推進事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会議については原則「書面開催」、研修会については「WEB配信（予定）」となりました。そんなコロナ禍で行われている各区の「在宅医療・介護連携推進会議」についてご紹介します。

在宅医療・介護連携推進会議は、在宅医療と介護の連携に関する課題を抽出し、その対応策を検討することを目的に設置されています。

〈会議の運営例〉



昭和区：課題を抽出するためにアンケートを実施

昭和区在宅医療・介護連携会議の下部組織である在宅医委員会、訪問看護委員会、ケアマネジャー委員会において多職種/関係機関間の連携における課題を抽出するためのアンケートを実施しました。このアンケートは「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック～名古屋市における在宅医療・介護連携ガイドライン」の内容を参考に、多職種が連携する主要な3場面〈在宅医療〉〈入退院〉〈看取り〉ごとの課題についてご回答いただいています。

また、今後このアンケート結果をもとに課題解決にむけた検討を行っていく予定です。

熱田区：はち丸ネットワークのグループチャットを活用

課題の抽出、対応策の検討を効率的に行うために、会議の下部組織として職種別の委員会を設置している区もあります。熱田区訪問看護ステーション委員会では、はち丸ネットワークのグループチャットを活用し意見交換を行っています。一週間という期間を決め、これまで数回グループチャットでコロナ禍における各事業所の取り組みなどについて意見交換を行っています。それぞれコロナ禍の忙しい中でも時間があるときに書き込むことができ、また意見がすべて可視化されることで、全員がその意見を時間が経っても振り返って確認できるというメリットがあります。また、グループチャットを使用することで連携が途絶えることなく継続できています。

中川区：訪問看護ステーション委員会サポートシステムの運用を開始

中川区訪問看護ステーション委員会では、コロナ禍等により、自事業所でやむを得ずサービス提供が困難になった場合、本来の事業所に代わって区内の別の事業所がサービス提供を行う仕組みを構築しました。訪問看護指示書やケアプランの作成等で、かかりつけ医やケアマネジャーの協力が必要なため、中川区及び隣接区の医師会や居宅介護支援事業所等にご協力をお願いしています。



各区はち丸在宅支援センターの連絡先



千種区	052-732-0874	東区	052-933-0874	北区	052-982-0874	西区	052-561-0874
中村区	052-481-0874	中区	052-201-0874	昭和区	052-763-0874	瑞穂区	052-852-0874
熱田区	052-683-0874	中川区	052-354-0874	港区	052-652-0874	南区	052-823-0874
守山区	052-795-0874	緑区	052-896-0874	名東区	052-760-0874	天白区	052-800-0874

受付時間：月曜～金曜（祝日・年末年始除く）午前9時～午後5時

はち丸在宅支援センターは、名古屋市から委託を受け、一般社団法人名古屋市医師会が運営しています。

